

■ 物乞いする盲目な男性に対する女性の対応

盲目の老人男性が道端に座って、段ボールに「I'm Blind. Please help (私は目が見えません。助けてください。)」と書いて、物乞いをしています。しかし、人々は冷たく、なかなかお金をもらうことが出来ませんでした。そこに、ひとりの女性が現れて、「It's a Beautiful day. And I can't see it. (今日は素晴らしい日。でも、私はそれを見ることが出来ない。)」と書き変えました。すると、人々の反応は大きく変わり、今まで見向きもしなかった人々は、次々にお金を置いていくようになりました。私たちの人生には、この言葉に大きな影響を与えます。多くの人たちが間違った情報によって、自らや他者を傷つけ、自分の心を閉ざしてしまう社会があります。そんな中で、私たちは、どのように生きていかなければならないかを考えなければならないのです。

■ パウロ

プライドが高くして失敗者、努力をして社会的地位を得ましたが、自らの価値感を誤ったがために、本来、自らが愛していたはずの思いとは違う行為を、その人の名前ゆえに行なって失敗をしました。しかし、失敗者だったパウロは、人生を改めて、神様に出会うことを通して、今までの生き方を変えることが出来ました。晩年になって、その自分の失敗と、今までの生き方を通して、次の世代(テモテ)に伝え、継承しました。

■ 誘惑、偽善との闘い

私たちは、元々神様が素晴らしく作ってくれましたが、私たちが絶えず葛藤していることは、心の内に起こる誘惑に対する言葉です。豊かさから来る飢餓という環境の中で、他者と比較して自分は駄目だという判断をします。自分はふさわしくない、自分には出来ない、または、過去の劣等感を消すために自分のできごとで固着して、自分を高くしてしまう傲慢という主にこの2つがあります。しかし、この2つがバランスよくはぎ取られた人はうまくいっているのです。本来、私たちの心の良心に従って本当に大事なことは何なのかということ、聖書の教えに立って、それを守りながら行わなければならないのです。例えば飲酒についてですが、お酒は、一杯であれば害があるわけではありません。お酒に呑まれることを通して、人生を失ったり、自らの心を逃避させたり、環境を変えることで自分の弱さに、強い心を持つたりする逃避があります。聖書は、この逃避することに問題があると云っているのです。本来自ら神の前に出て、自分の将来を見つめ、向き合うべきことがあるのに、それを見つけれないから、ただ楽しいことをするのであれば、それが逃避であり、ずれなのです。私たちは、いつも自らのバランスを保たなければならないのです。私たちが、コミュニティーの中で、それを見抜いて、寄り添う必要があります。本人は、逃避やずれていることに気づき、考えることが大事です。

「人間は感情の動物だ」というシェークスピアの言葉があります。誘惑にあった時、感情の動物になります。人間は本来意思で生きていました。意思が感情を制御していることが出来れば問題ありませんが、意思が感情を制御できなくなったことに問題があります。言ってはならないことを言い、やってはならないことをやります。誘惑がきて、感情に訴えかけられ、それで失敗しているのです。私たちは、神様に赦されて、神様に選ばれて、癒されて、過去を赦されました。頭では、癒され、過去の罪は、取り除かれましたと言いながら、まだ誰かに評価されることを願い、自分を評価されるために、または、受け入れられるために、誘惑に陥ってでも自分を自分として保とうと、自分に間違っただけの暗示をかけてしまいます。アダムとエバが罪を犯した時、「あなたが造った女が食えと言ったから食った」という言葉のように、人が感情的になって言う言葉は、どれほどに残酷で人々の人生を壊すでしょうか。結果、あらゆる関係を破壊してしまいます。

■ 教える責任

惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。このようにして、悪魔は、信仰から引き離そうとしますが、神様が守りなさいと言われたことが10項目あります。あなたは、わたしのほかに、他

の神々があってはならない。自分のために偶像を造ってはならない。安息日を覚えて、これを聖なる日とせよ。等(出エジプト記20章)これらは守ることが出来ますが、うわべではなく、心で守ること、心が神様に向いていることが大事なのです。

神のことばと祈りによって、聖められるからです。神様の言葉が自分の中にあつて、誘惑に打ち勝てるのであれば良いのです。これらのことを兄弟たちに教えるなら、あなたはキリスト・イエスのりっぱな奉仕者になります。それを伝えることが教えます。イエスキリストと共に生きたことを証する教えが必要なのです。そして、敬虔のために自分を鍛錬することです。鍛錬とは、不純物を熱によって叩き出すように、私たちは、神様の前に出で尊ぶ時、自分の中にある不純物が鍛錬されるのです。困難や問題の中にあつても、神様によって選ばれていることを知り、置かれている環境から逃げてはならないのです。神様を選ぶことを尊び、どんな状況にあつても、神様と共に生きる道を選ぶことです。この言葉は真実でありそのまま受け入れるに値する言葉です。教えは命令ではありません。尊んで行動し、そこに立ち向かって立っていないと教えることはできません。その人にどう伝えるか、言葉は大事です。人を活かす言葉は、私たちに、すでに植え付けられています。神様に言われたことを聞いて、これを誰かのために使わなければならないのです。イエスキリストの十字架の言葉を命がけて次の世代に伝えていかなければならないのです。

■ 軍隊輸送船ドーテスター号に乗る4人のチャップレン(軍に帰属する牧師たち)

軍隊輸送船に魚雷が突っ込み沈没に向かっていきます。価値観が違う4人が手を取って、神に祈り命がけて救援を行いました。多くの人を助けて、自らが着ていた救命胴衣を最後の避難者に渡し、4人は賛美しながら天国に召されていきました。価値観も教えも違うが、唯一繋がっていたのは、神を信じる心でした。彼らの行為は、争っていた多くの教団・教派に和解を与えました。そして、価値観の違いによってずれていた人々の心に、もう一度良心による一致というものが語られました。ひとつになって、ひとつの目標に向かって、命をかけてキリストの十字架を行ったのです。ひとりの人が、友のために命を捨てるこれほどに大きな愛は無いと聖書に書いてあります。私たちが、次の世代に伝えることはこのようなことです。誰かが正しい、誰かの教えが素晴らしい、誰かが立派な生き方をしている等、そんなことを伝えるのではなく、私たちの心の中にある神様を思う心が何であるかです。大きな問題に目の当たりにした時、本当に自らの役割が何であるかを考えることです。多くの人が、彼らの生き様を通して学ばなければならないのです。これが教えであり、生き様なのです。

さいごに...

イエスキリストは、生き様を持って、その受難を通られました。苦しむものは幸いです。天の御国はその人も物だからです。あなたは、神様をほんとうに尊んでいますか。間違っただけの言葉を語り、俗悪な過のない言葉を語っていませんか。あなたの口から出る言葉は、教えますか。偽善ですか。誰かのことを本当に愛して語っていますか。自分を保ち、陥れる為に語っていませんか。自分の過去を如何に美化しても意味がありません。しかし、私たちの過去に問題があったことを理解し、十字架にかけて、今日から新たに生まれ変わる人の生き方が、悪魔に騙されず、過去を否定されない生き方です。その問題だらけだった過去の為に、その中で全てを益とするために、イエスキリストは十字架に架かったのです。あなたはほんとうに神様を愛していますか。綺麗な言葉を使うことは出来ますが、本当の心内にはどんな心がんでいますか。神様が見るのは真の礼拝者です。イエスキリストは、あなたと共にいます。死と共にいる姿を人々に生き様として伝えていくことです。うまくいくことではなく、評価されることでもなく、イエスキリストと共にいることです。神様は、全ての捧げたものを豊かに祝福して与えてくださいます。私たちが、そのことを信じ、神様が私たちを選んでくださったことに感謝をしましょう。

(要約者:西寄達也)

(2022年4月10日)